令和２年度　岡山県立倉敷琴浦高等支援学校　学校評価書

校長　　尾　上　泰

１　自己評価

（１）生徒のキャリア発達を促す授業の実践・充実

①働き続ける力と関連づけた授業実践については、昨年度までの研究の取組みを生かしながら学習指導案に働き続ける力を明記する等、働き続ける力（生活する力、働く力、人と関わる力）を意識した実践を行うことができた。また、令和４年度からの新学習指導要領の完全移行に向けて、「指導内容表」を活用し、各教科の目標や内容を踏まえた上で授業づくりをすることができた。

②新型コロナウイルス感染拡大により、校内外での行事や検定が中止や延期となり、生徒が挑戦する機会が減ってしまったが､校内で実施できる検定については積極的に取組み、96 ％の生徒が何らかの検定や応募作品に挑戦することができた。また、感染症対策を徹底し、可能な範囲で行事を開催することで、主体的に学ぼうとする意欲の継続につなげることができた。

③日々の教育活動において、生徒の実態把握や障害特性の理解に努めるとともに、保護者との連絡や相談を適宜行うことで連携を図ることができた。自己理解を深める取組については各学年で計画的に進めるとともに、研究係を中心にナビゲーションブックの作成と活用について自己理解の授業と関連させながら深めていく予定である。

（２）地域、関係機関と連携した進路指導の充実

①今年度進路だよりを８号発行し、時期に応じた内容を発信することができ、校内一帯となる進路指導の充実が図られた。また、ブラッシュアップ事業を通して地域の企業と連携した授業づくり、オリジナル製品づくりを行うことができた。

②新型コロナウィルス感染症の影響により、夏季休業中に関係機関と事業所を訪問する形式のアフターケアは行えなかったが、電話での本人と事業所への聞き取りを行うことで就労状況を把握することはできた。在校生に対しては、「職業」で地域の支援機関についての理解を図るとともに、例年生徒の居住地区で行われる福祉制度説明会や地区別懇談会（生活・働くを知る会）に代わる説明会を学校で行うことができた。また、PTA 職場見学の代替として、保護者に本校の進路を決めるまでの道筋についての説明会を行い、好評を得た。

③全学年、各学年段階のナビゲーションブックを作成し、現場実習を通して本人の振り返りだけでなく実習先からの御意見もいただき、修正を繰り返した。移行支援会議で活用することで、充実した協議を行うことができた。生徒を中心に捉えた支援ネットワーク構築ができている。

④高等学校への就労支援や特別支援教育を支えるセンター的機能として、就労支援コーディネーターを派遣した。（６高校、１７名の就労支援を実施）

（３）楽しく充実した学校生活をサポートする体制の充実

①新型コロナウィルス感染症の影響で行事ができないない中､最大限の感染症対策を行い、できる範囲で主体的に活動に取り組むことができた。また、年間を通して行う地域での清掃ボランティア活動も行うことができた。

②部活動に関し、新型コロナウィルス感染症の影響もあり回数は限定されたが、余暇活動につながる活動ができた。部活動への参加率も８０％を超えることができた。

③生徒理解を深めるため、定期的な教育相談体制が定着してきた。また、教育相談的視点から生徒への対応についてケース会を実施し、対応策を検討することができた。

④指導困難生徒に対する職員研修を実施し、適切な支援を行うための研修を深めた。また関係機関との連携を深め、安心・安全な学校体制の構築に努めた。

（４）共生社会を推進するための支援体制の充実

①公開講座では、就労支援に関する内容を取り上げ、学校内外の方や保護者に対し、センター的な役割を果たすことができた。

②就労支援コーディネーターを中心に、外部機関とも積極的に連携し協力を得ながら、本校生徒の困難さを解決するよう支援することができた。

③倉敷社会福祉協議会との連携を深め、今後の地域へのかかわり方を検討した。

２　学校関係者評価委員名

重松　孝治　　（川崎医療短期大学　講師）
大島　美栄子　（倉敷障がい者就業・生活支援センター　所長）
松浦　文夫　　（琴東地区社会教育コミュニティ推進協議会　会長）
西中　学　　（児島産業振興センター　所長）
竹本　浩作　　（児島ハローワーク　統括職業指導官）
市田　晴代　　（本校ＰＴＡ　会長）

３　学校関係者評価

（１）第１～３回学校関係者評価委員会を計画し、授業参観、意見交換、自己評価アンケート内容検討等を行った。臨時休校もあり、１回目は計画より実施が遅くなった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、２回目は資料配付による紙面開催とし、３回目は、感染症対策をした上での集合形式での評価委員会を実施した。

４　次年度に向けて重点的に取り組む内容

・生徒が安心して、安全に生活できる学校体制づくり
・生徒の就労支援と卒業生のアフターケアの充実